

「物件状況等報告書」記入上のご注意 【土地建物・土地用】

社団法人不動産流通経営協会（FRK）の標準売買契約書では、売主様は、買主様に、売買物件について、売主様が知っている事柄を本書（物件状況等報告書）に記入して説明いただくことになっています。

売主様には、本書を媒介契約締結後、すみやかにご記入くださるようお願ひいたします。また、本書の記載内容については、買主様だけでなく、購入検討のお客様に参考情報としてご提供させていただきますので、あらかじめご承知おきください。

なお、売買契約締結時までに本書の記載内容に変更が生じた場合には、お手数ですが、改めて「物件状況等報告書」にご記入いただくことが必要となります。

本書は重要な書類ですので、下記内容を十分にご理解の上、記入漏れのないように正確にご記入ください。

<なぜ本書が重要なのか>

- ① 不動産売買契約では、売買物件の状況等が売買契約締結時にどのような状態であるか、またはどのような状態で買主様に引渡すかを明確にしておく必要があります。
特に中古物件の場合は、経年変化等により物件に損耗等が生じていることが一般的ですので、その状態を買主様に説明し、買主様はそれを了解して取引するというのが通常の扱いになっています。
- ② 売買物件に瑕疵（欠陥や不具合のことをいいます。）があれば、本書にて買主様にあらかじめ説明することが必要です。万一、売主様が知っていたにもかかわらず買主様に知らせなかつた瑕疵については、不動産売買契約書の定めにかかわらず、売主様に対し損害賠償義務等が発生し、トラブルになる場合があります（たとえ瑕疵担保責任を負わない旨の取り決めがあつても同様です。）。
- ③ 一方、売主様は、買主様が売買契約締結時に瑕疵の存在を知っていたときは責任を負う必要はありませんので、売主様が知っている瑕疵はできるだけ正確に買主様に伝えておくことが、売主様にとって重要なことになります。
- ④ 瑕疵には、物件に関する物理的瑕疵だけでなく、心理的瑕疵（事件・事故・自殺等）もあります。また、物件に何らかの影響を及ぼすおそれがある建築計画や、騒音・振動・臭気等の発生、暴力団事務所等が物件の近隣周辺にあるか否かも購入の際の判断基準となることがあります。
これらの「重要な事実」についても、トラブル防止や売主様の説明義務違反に問われないようにするため、売主様が知っている事実は本書にて説明することが必要です。

1. 売買物件の状況 欄の記入について

- ① 雨漏り
天井からのものだけでなく、外壁やサッシ取付部分等からの吹き込みやシミがある場合も記入してください。
- ② シロアリの害
シロアリの害の性質上、売買対象である建物についてだけでなく、敷地内の物置とか建物周辺部の植木等も含めて記入してください。
- ③ 腐蝕
木部の腐蝕に限らず、サビ（ベランダ等の鉄製部分等が考えられます）も含めて通常の使用に支障をきたすような場合に記入してください（特に浴室・洗面所・台所等の水廻りに留意してください）。
- ④ 給排水管（敷地内配管を含む）の故障
配管等の割れ・水漏れ、赤サビ水・濁り・詰まり等、給排水関係の不具合を記入してください。
- ⑤ 建物の傾き
建物全体の傾きはもとより、部分的な傾きについても記入してください。
- ⑥ 増改築
壁や柱の撤去・移動等の増改築・間取り変更を行っている場合は、耐力構造に影響を及ぼす可能性があるので、特に留意して記入してください。
- ⑦ 火災等の被害
ボヤ等についても記入してください。

⑧ 境界、越境について

FRKの標準売買契約書では、売主様より買主様に対し、現地にて境界標を指示して（境界標がないときは売主様の責任と負担で新たに境界標を設置して）境界を明示することを原則としています。境界標の設置状況を確認の上、記入してください。また、境界に関する取決め書や隣地との紛争の有無、隣地との共有堀の有無や管理方法等、境界について何らかの引継事項がある場合や、屋根やひさし、フェンス、堀、樹木等の隣地への越境、あるいは隣地からの越境、道路への越境がある場合も記入してください。

⑨ 配管の状況

「第三者敷地の利用」は、売買物件の配管が他人の敷地を経由しているかどうか、「第三者の配管埋設」は、売買物件の敷地内に他人の配管が埋設されているかどうか等を記入してください。

⑩ 地盤の沈下、軟弱等

地盤が弱い（当該土地が以前に水田や池、沼等であった場合等が考えられます）場合や、建物建築に当たって通常よりも強固な基礎が必要であった場合は記入してください。また売買物件の地盤が現実に沈下している場合は、その場所と状況についても記入してください。

⑪ 敷地内残存物等

旧建物基礎や浄化槽および建築廃材（いわゆる「ガラ」）等の残存物等、撤去費用を要する不用物がある場合に記入してください。

⑫ 土壤汚染等に関する情報

土壤汚染とは、鉛、砒素、水銀、カドミウム等の有害物質や、油や薬品類等が、土壤に含まれることに起因して、人の健康に被害を与える土壤の状態のことといいます。

土地の利用状況等の履歴は、土壤汚染等の可能性を探る上で有力な情報となります。売買物件または周辺の土地が、過去および現在において有害物質の製造または使用等を行う工場・事業場等の敷地として利用されていた場合は、土壤汚染等の可能性がありますので記入してください。また、一般的な観点から判断して気になる土地の利用状況があれば記入してください。なお、土壤汚染等の可能性があるときは、売主様が土壤調査をし、必要があれば汚染物質の除去を行った後に売買契約を締結すべきとされています。

⑬ 浸水等の被害

床上、床下等を問わず、浸水の事実について、また周辺地域が浸水の多い地域であればその事実も記入してください。

⑭ 近隣の建築計画

売買物件に影響を及ぼすと思われる近隣の建築計画があれば記入してください。

⑮ 騒音・振動・臭気等

一般的な観点から判断して気になると思われるものについて記入してください（道路・電車・飛行機・工場・店舗等によるものが考えられます）。

⑯ 電波障害

テレビ等の電波に障害がある場合に記入してください。

⑰ 周辺環境に影響を及ぼすと思われる施設等

一般的な観点から判断して気になると思われるものについて記入してください（ゴミ処理場、暴力団事務所、火葬場等が考えられます）。

⑱ 近隣との申し合わせ事項等

近隣地域（自治会・町内会等）での協定や取り決め（ゴミ集積場所、自治会・町内会費等）で、特に買主様に引き継ぐべき事項を記入してください。

⑲ その他

表記列挙項目の補足説明や、列挙項目以外（売買物件やその近隣での自殺、殺傷事件等の心理的影響があると思われる事実、近隣とのトラブル、擁壁・崖地・法地、吹付けアスベスト等）で、買主様に説明すべき事項があれば記入してください。

2. 売買物件に関する資料等 欄の記入について

①新築時の設計図書、②増改築・修繕の履歴、③建物の石綿の使用の有無の調査に関する資料、④建物の耐震診断結果の資料、⑤住宅性能評価書、⑥前所有者からの引継資料等の「資料」があれば、売買物件の保守・管理に有用な資料となりますので、売買物件を引渡す際に、買主様に引渡してください。

買主様に引渡す資料名と、新築時の分譲業者名、施工業者名、売買物件取得時に関わった不動産流通業者名について、記入してください。

その他、買主様に引渡すべき資料や情報があれば備考欄に記入してください。また、浄化槽やプロパンガスを使用している場合は、その担当会社の連絡先も記入してください。

物件状況等報告書(土地建物・土地用) [物件名:○○区○○ 一戸建]

1. 売買物件の状況 (土地のみは①~⑦は記入不要)

売主は、売主が現在知っている売買物件の状況について、以下のとおり買主に説明いたします。

売買物件には経過年数に伴う変化や、通常使用による摩耗・損耗がありますのでご承知おきください。

※売主が責任を負う瑕疵(欠陥や不具合のことをいいます。)の範囲は、売買契約書に記載されたとおりです。

① 雨漏り	ア. 現在まで雨漏りを発見していない。
	① 過去に雨漏りがあった。箇所: 2階西側和室の南側天井 修理: (未・済) 昭和・平成 ○ 年 ○ 月頃 屋根葺き替え工事実施 ウ. 現在雨漏りがある。箇所:
② シロアリの害	ア. 現在までシロアリの害を発見していない。 シロアリ予防工事: (未・済) 昭和・平成 年 月頃 ① 過去にシロアリの害があった。箇所: 1階洗面所床下 シロアリの駆除: 昭和・平成 ○ 年 ○ 月頃 被害箇所を含む床下全体に薬剤散布済。 被害箇所の修理: (未・済) 昭和・平成 ○ 年 ○ 月頃 ウ. 現在シロアリの害がある。箇所:
	③ 腐 蝕 (発見していない・発見している) 箇所: 浴室ドアの木枠 状況: 木枠の下部に水気が原因と思われる腐蝕がある。
④ 給排水管 (敷地内配管を含む) の故障 (発見していない・発見している)	箇所・状況: 台所の流し台下の排水管が時々詰まる。
⑤ 建物の傾き (発見していない・発見している) 箇所: 1階和室 状況: 南側に傾いている。	
⑥ 増改築 (無・有・不明) 昭和・平成 ○ 年 ○ 月頃 箇所: 1階サンルームを増築。 増・改築に関わった建設業者名(業者名:○○建設株) • 不明)	
⑦ 火災等の被害 (無・有) 昭和・平成 ○ 年 ○ 月頃 箇所・状況: 台所・天ぷら鍋に火が入り、吊り戸棚の下部が焦げたため、化粧板を貼付した。	
⑧ 境界、越境について 取決め書(無・有) 紛争(無・有) ● 境界標の有無(全部有り・一部無し・全部無し) 境界標がない箇所・状況: 北側隣接地(地番15番3)との境界 ● 越境(無・有) 場所・状況: 西側隣接地境界(ブロック塀)・幅約7cm隣接地に越境。 引継事項: ブロック塀を次回の再築時には境界の内側に設置することになっている。	
⑨ 配管の状況 ● 第三者敷地の利用(無・有)(給水管・排水管・ガス管) ● 第三者の配管埋設(無・有)(給水管・排水管・ガス管) 箇所・状況: 売買物件のガス管が西側隣接地の一部を通っている。東側隣接地の給水管が売買物件敷地内を通っている。	
⑩ 地盤の沈下、軟弱等(発見していない・発見している) 状況: 建物建築の際に、施工業者から軟弱地盤といわれたため、基礎を強化した。	
⑪ 敷地内残存物等(無・有) 種類: (旧建物基礎・建築廃材・浄化槽・井戸) 場所: カーボート下に浄化槽あり。北西角に井戸あり。	
⑫ 土壤汚染等に関する情報(無・有) (土壤汚染の有無またはその可能性、過去の土地・建物所有者と利用状況、周辺の土地の過去及び現在の利用状況等) 概要: 前所有者が売買物件においてクリーニング業を経営していたため、ドライクリーニングの薬剤が残留している可能性がある。	
⑬ 浸水等の被害(無・有) 昭和・平成 ○ 年 ○ 月頃 程度: 床下浸水(台風による)	

(14) 近隣の建築計画（知らない・知っている）	概要：東道路向かいの空地にマンションの建設計画あり。
(15) 騒音・振動・臭気等（無・有）	状況：近隣のコンビニエンスストア駐車場に出入りの自動車騒音。
(16) 電波障害（無・有）	程度：□□テレビ（△チャンネル）の映りが悪い。
(17) 周辺環境に影響を及ぼすと思われる施設等（一般的な観点から気になると思われるもの）（知らない・知っている）	○○葬儀場
(18) 近隣との申し合わせ事項等	町内会費（月額500円）、ゴミ置場の清掃当番あり。
(19) その他	①について、浄化槽は公共下水に切り替え時に土を入れ、その上をカーポートとして利用している。 1階駐車場の鉄骨のはりに吹付けアスベストが使用されていますが、平成〇年〇月にアスベスト封じ込め工事完了済。

2. 売買物件に関する資料等（土地のみの場合は①～⑤は記入不要）

① 新築時の設計図書等の資料（無・有）	資料の買主への引渡し（する・しない） 資料名：建築確認済証および関係図面、検査済証。	
分譲業者（業者名：○○開発株）	・無） 施工業者（業者名：不明）	
② 増改築・修繕の履歴に関する資料（無・有）	資料の買主への引渡し（する・しない） 外壁の修繕工事の請負契約書（請書）	
③ 建物の石綿の使用の有無の調査に関する資料（無・有）	資料の買主への引渡し（する・しない） 資料名：○○ハウス株のアスベスト使用調査報告書	
④ 建物の耐震診断結果の資料（無・有）	資料の買主への引渡し（する・しない） 資料名：住宅性能評価書・耐震基準適合証明書・耐震診断結果評価書・	
⑤ 住宅性能評価等に関する資料（無・有）	資料の買主への引渡し（する・しない） 資料名：設計住宅性能評価書・建設住宅性能評価書・既存住宅性能評価書・ ※住宅性能評価書の記載内容は検査(評価)時の状態のものであり、売主はその性能を保証するものではありません。	
⑥ 前所有者から引き継いだ資料（無・有）	：団地内の集中汚水処理施設の利用規約	
⑦ 売買物件取得の時に関わった不動産流通業者等（業者名：○○不動産株）	・無）	
備考 分譲業者○○開発株は既に倒産している。		
※浄化槽業者連絡先	会社名：	TEL：
※プロパンガス業者連絡先	会社名：	TEL：
※ゴミ、特に定めのない不用な家具、物品等は売主にて処分します。		

平成 年 月 日付不動産売買契約に基づき、売主は、売買物件等の状況を買主に説明し、買主は説明を受けました。

平成 年 月 日

<売主>

<買主>

氏名

印

氏名

印

「設備表」記入上のご注意【土地建物用】

社団法人不動産流通経営協会（FRK）の標準売買契約書では、この「設備表」が契約書の付属書類となっております。

売主様には、本設備表を媒介契約締結後、すみやかにご記入くださるようお願いいたします。また、本設備表の記載内容については、買主様だけでなく、購入検討のお客様に参考情報としてご提供させていただきますので、あらかじめご承知おきください。

なお、売買契約締結時までに本設備表の記載内容に変更が生じた場合には、お手数ですが、改めて「設備表」にご記入いただくことが必要となります。

本設備表は重要な書類ですので、下記内容を十分にご理解の上、記入漏れのないように正確にご記入ください。

＜なぜ本設備表が重要なのか＞

- ① 不動産売買契約では、売買物件の設備に関する状況等が売買契約締結時にどのような状態にあるか、またどのような状態で買主様に引渡すかを明確にしておく必要があります。
- ② 「設備の有無」欄は、売買対象となる設備を明らかにするものであり、売主様が「設備の有無」欄に「有」とした設備が引渡しの対象となります。
- ③ FRK標準書式では、設備について「主要設備」（給湯関係・水廻り関係・空調関係等）と「その他の設備」に区分しています。
- ④ 売主様は、買主様に「主要設備」のうち、「故障・不具合」欄に「無」とした「主要設備」にかぎり、使用可能な状態で引渡すとともに、引渡完了日から7日以内に、買主様から請求を受けた故障・不具合にかぎり修復義務を負います。例えば、引渡完了日が金曜日の場合、翌日の土曜日から起算して7日目（翌週の金曜日）までに請求を受けた場合、売主様が買主様に対し、主要設備の修復義務を負います。
- ⑤ 売主様は、「主要設備」のうち、「故障・不具合」欄に「有」とした「主要設備」および「その他の設備」については、故障・不具合があったとしても修復義務を負いません。しかし、将来のトラブルを防止するため、故障・不具合がある場合は、その状況を備考欄に記入してください。また、使用不能な設備については、買主様の意向で撤去していただくことが必要となる場合があります。
- ⑥ 売主様は、買主様へ引渡す「主要設備」および「その他の設備」について、買主様に引渡すまでの間は、善良なる管理者としての注意義務をもって契約時の状態を保持するように努めてください。

※上記④⑤については、売主様が宅地建物取引業者の場合は該当しません。

1. 記入上の全般的な留意点

(1) 設備の有無

「設備の有無」は、あくまでも買主様に売買物件を引渡す時点においての状況を記入するものであり、売買契約締結時の状況を記入するものではありません。したがって、売買契約時には存在していた設備であっても、引渡しまでの間に撤去してしまう設備については、「無」に○をつけます。撤去してしまうものがある場合には、設備があった場所の撤去後の状況についても記入します。

また、設備ごとに主な付帯機能や設置場所等を記載していますので、該当するものに○をつけます。記載されていない設備や設置場所・付帯機能等があれば書き加えてください。

(2) 故障・不具合の有無

「主要設備」のうち引渡すとした設備について、売買契約締結時に故障または不具合がある場合は「有」に○をつけ、その内容を「故障・不具合の箇所および具体的な内容」欄に記入します。故障・不具合がない場合は、「無」に○をつけます。

「その他の設備」のうち引渡すとした設備については、買主様に説明を要すると思われる故障または不具合がある場合は、その内容を「備考」欄に記入します。なお、「その他の設備」の「備考」欄に故障・不具合の記入がない場合、その設備は、故障や不具合が特段ないことを意味しますので、売主様は、その点を十分ご理解の上、故障・不具合について記入漏れの無いようにご注意ください。

(3) 故障・不具合の箇所および具体的な内容

「主要設備」については、「故障・不具合」欄で「有」としたものについては、どの程度使用できるのかどうか、どのような不具合があるのか、その状態を詳しく記入します。また、設備を使用する上で、買主様に伝えておいたほうがよいと思われる事項について記入します。

2. 主要設備の記入上の留意点

(1) 給湯関係

- ① 本項目は、引渡し後買主様から不具合の申し出が多い項目です。できれば使用年数等を記入して、引渡し後買主様が当該設備を保守するうえで参考となるようにしてください。特に長期間にわたり使用していないかった場合は、引渡し前に点検をするようにしてください。また、凍結の可能性がある設備については、水抜き等の処理をしてください。
- ② 取扱説明書、使用説明書、保証書等があれば、引渡し時に買主様に引継げるよう準備をしておいてください。

(2) 水廻り関係

- ① 付帯機能がいくつか挙げられていますが、これらは台所セットに組み込まれているもののこと、一台ごとの電化製品のことではありません。各種設備については、長期間の使用等に伴う性能の劣化・不具合があれば、具体的にその現象等を記入してください。特に長期間にわたり使用していないかった場合は、引渡し前に点検をするようにしてください。また、凍結の可能性がある設備については、水抜き等の処理をしてください。
- ② 洗面設備については、ひび割れ等について記入してください。

(3) 空調関係

- ① 冷暖房機、冷房機および暖房機は、それぞれ記入欄が別になっていますので、注意してください。設備名称の中のカッコ内の「電気」、「ガス」、「石油」等は、当該設備の熱源を表していますので、該当するものに○をつけてください。
- ② 本項目も、引渡し後買主様から不具合の申し出が多い項目です。できれば使用年数等を記入して、引渡し後買主様が当該設備を保守するうえで参考となるようにしてください。特に長期間にわたり使用していないかった場合は、引渡し前に点検をするようにしてください。
- ③ 設置場所は、その設備が設置されている場所のことで、スイッチの場所ではありません。

(4) その他

- ① インターホンの故障の有無等について記入してください。
- ② ドアチャイムの故障の有無等について記入してください。

3. その他の設備

(1) 照明関係

- ① 屋内と屋外に分けての記入になります。引渡す照明器具に、球切れやスイッチの故障等があれば「備考」の欄に記入してください。
- ② 屋内の照明器具については、撤去するものがある場合、その設置された場所（例：1階の洋室）を記入してください。

(2) 収納関係

- ① 原則として造付けではない家具は含まれません。たんすや金庫等で不要となったものは、売主の責任で処分してください。
- ② 各設備について、設置場所のほか、不具合があれば備考に記入してください。

(3) 建具関係

- ① 本項目では、有無だけでなく、使用上の不具合箇所の有無も重要で、建具自体の歪みや窓ガラスの割れている箇所、網戸やふすまの破れ等について記入してください。
- ② 溝はあるのに網戸が入っていない場合の網戸や、間仕切りの戸を取り払って2室を1室のように使用していた場合の戸の行方等もチェックしてください。

(4) その他

- ① 車庫は、物件によっては独立した建物として登記されているものもあり、必ずしも設備とはいえない場合もありますが、それらも含めて記入してください。物置についても同様です。
また、車庫・カーポートを「有」とした場合でも、その広さによって駐車できる車種が限られます。もし軽自動車しか駐車できないのであればその旨を、それ以上の場合でも駐車可能な車種をわかる範囲で記入してください。
- ② 庭木については、敷地に植えられているもののほか、鉢植えのものまで含めて記入してください。枝が隣地へはみ出していたり、倒れる危険等がある場合は、その旨記入してください。また、撤去する場合は、撤去後の穴が残っていますと大変危険なので、埋め戻す等の措置を行なってください。

以上

設備表（土地建物用）【物件名：〇〇区〇〇 一戸建】

売主は、「設備の有無」欄に「有」とした各設備を買主に引渡します。ただし、引渡す設備には経年変化および使用にともなう性能低下、キズ、汚れ等があることをご了解ください。

「設備の有無」欄に「無」としている設備は、該当するものがないか、または売主が引渡しまでに撤去するものです。

1. 主要設備

主要設備の名称		設備の内容・付帯機能等	設備の 有・無	故障・ 不具合	故障・不具合の箇所および具体的な内容等
給湯関係	給湯器（電気・ガス・石油）	給湯箇所：(台所)・(浴室)・(洗面所)	有・無	有・無	給湯の温度が不安定。 約12年使用。
	バランス釜		有・無	有・無	
	太陽熱温水器		有・無	有・無	
	湯沸かし器		有	無	
水廻り関係	厨房設備（台所セット）		(流し台)	有・無	有・無 混合栓：根元部分から水がしみてる。
			(コンロ)（電気・ガス）・(グリル)	有・無	有・無 右側コンロ：点火装置が作動しない。
			(レンジフード（換気扇）)	有・無	有・無
			オーブン・(オーブンレンジ)（電気・ガス）	有・無	有・無
			浄水機	有・無	有・無
			食器洗い機	有・無	有・無
	浴室設備		(シャワー)	有・無	有・無 シャワーを掛けるフックが壊れている。
			(追焚き)・足し湯・保温・	有・無	有・無 追焚き機能は使用不能。
			浴室室内乾燥・	有・無	有・無
空調関係	洗面設備	1階洗面所	(鏡)・シャワー・(コンセント)・ くもり止め	有・無	有・無 洗面台：ボウルにひびが入っている。
		2階洗面所	鏡、コンセント、シャワー	有	無
	トイレ設備	1階トイレ	(保温)・(洗浄)・(乾燥)・	有・無	有・無 乾燥機能：温風が出ない。
		2階トイレ	保温、洗浄	有	無
	洗濯用防水パン		(洗面所)・	有・無	有・無
	冷暖房機（電気・ガス）		1階居間	有・無	有・無 除湿機能故障。約12年使用
	冷暖房機（電気・ガス）		1階和室8帖	有・無	有・無 リモコン紛失。約12年使用
	冷暖房機（電気・ガス）		2階洋室8帖	有・無	有・無
	冷房機（電気・ガス）			有・無	有・無 2階洋室6帖は撤去。壁穴キャップします。
	暖房機（電気・ガス・石油）		1階居間	有・無	有・無 タイマー故障。
	床暖房設備（電気・ガス）		1階居間	有・無	有・無 作動しない。
	換気扇		1階居間	有・無	有・無
	換気扇		浴室	有・無	有・無 換気扇のファンが回らない。
	換気扇		トイレ	有・無	有・無
	24時間換気システム			有・無	有・無

主要設備の名称	設備の内容・付帯機能等	設備の有無	故障・不具合	故障・不具合の箇所および具体的な内容等
その他の 設備	インターホン	(TVモニター機能)	有・無	TVモニターの画面が映らない。
	ドアチャイム		有・無	

2. その他の設備

	設備の名称	設備の有無	備考
照明関係	屋内照明器具	④(全部・一部)・無	撤去する照明器具：1階和室8帖、2階東側洋室6帖 廊下照明スイッチが接触不良で作動しないことがある。
	屋外照明器具	④・無	設置箇所：(玄関)・門・庭・(カーポート)・バルコニー・庭園灯 庭園灯の脚部分にサビが生じている。
収納関係	食器棚(造付)	④・無	ガラス1枚ひび割れあり。
	つり戸棚	④(4ヶ所)・無	設置箇所：(台所)・(洗面所)・(トイレ)・2階西側洋室
建具関係	床下収納	④・無	設置箇所：(台所)
	下駄箱	④・無	とびらのすべりが悪い。
建具関係	網戸	④(10枚)・無	網戸のすべりが悪い。窓枠との間にスキ間あり(2階和室6帖)。 1階和室8帖、2階東側洋室6帖の網戸にやぶれあり。
	雨戸	④・無	
建具関係	戸・扉	④・無	1階物入れの戸のすべりが悪い。
	ふすま	④・無	1階和室8帖のふすまにやぶれあり。
建具関係	障子	④・無	障子紙に破れ箇所あり(2階和室6帖)。
その他	TVアンテナ	④((単独)・共同)・無	衛星アンテナ(④・無 - (単独)・共同)(BS・CS)
	カーテンレール	④・無	居間のカーテンレールは撤去。
	カーテン	④・無	
	物干し	④・無	
	車庫・(カーポート)	④・無	軽自動車のみ駐車可。
	物置	④・無	扉のすべりが悪い。鍵を紛失。
	(庭木)・(庭石)・灯ろう	④・無	撤去するもの：鉢植え全部とツゲ・ツツジは撤去。 埋め戻しの上、引渡し。
	(門)・表札・(へい)・フェンス・垣根	④・無	撤去するもの： 門扉の蝶番に一部破損あり。片側が下がる。

売主は、買主に対し、平成 年 月 日付不動産売買契約に基づき、買主に引渡す設備およびその状態を説明し、買主は、説明を受けました。

平成 年 月 日

<売主>

<買主>

氏名

印

氏名

印

2. (社) 全国宅地建物取引業協会連合会 書式

付帯設備及び物件状況確認書(告知書)(物件名:)

表1 付帯設備表 本物件は、下記の付帯設備が現況のまま引き渡しされます。

付帯機能には、() 内に該当する項目は○を付けてください。

付 带 設 備	付 带 機 能	設 備 の 有 無	備 考
流 し 台		□有・□無・□撤去	
換 気 扇		□有・□無・□撤去	
ガス(オープン)レンジ		□有・□無・□撤去	
ガス テーブル		□有・□無・□撤去	
湯沸かし器(個別)	(電気・ガス)	□有・□無・□撤去	
給湯設備	(電気・ガス・石油)	□有・□無・□撤去	
	シャワー	□有・□無・□撤去	
	追炊き	□有・□無・□撤去	
	保温	□有・□無・□撤去	
	浴室内乾燥	□有・□無・□撤去	
	洗面台	□有・□無・□撤去	
	鏡	□有・□無・□撤去	
	シャワー	□有・□無・□撤去	
	コンセント	□有・□無・□撤去	
	くもり止め	□有・□無・□撤去	
	保温	□有・□無・□撤去	
	洗淨	□有・□無・□撤去	
洗濯機用防水パン		□有・□無・□撤去	
冷暖房機	(電気・ガス)	□有・□無・□撤去	台
暖房機	(電気・ガス)	□有・□無・□撤去	台
冷房機	(電気・ガス)	□有・□無・□撤去	台
床暖房設備	(電気・ガス)	□有・□無・□撤去	台
屋内照明器具		□有・□無・□撤去	台
屋外照明器具		□有・□無・□撤去	台
吊り戸棚		□有・□無・□撤去	台
床下収納		□有・□無・□撤去	
下駄箱		□有・□無・□撤去	
網戸		□有・□無・□撤去	
雨戸		□有・□無・□撤去	
畳・襖		□有・□無・□撤去	
カーペット(敷込のもの)		□有・□無・□撤去	
カーテン		□有・□無・□撤去	
カーテンレール		□有・□無・□撤去	
インターフォン		□有・□無・□撤去	
ドアチャイム		□有・□無・□撤去	
TVアンテナ		□有・□無・□撤去	
物置		□有・□無・□撤去	
庭木・庭石		□有・□無・□撤去	
門・塀		□有・□無・□撤去	
車庫		□有・□無・□撤去	
		□有・□無・□撤去	

※使用不可の場合は備考欄に「使用不可」と記載。

付帯状況と取扱い

有 - 該当の設備有り 無 - 該当の設備無し 撤去 - 売主が撤去する (あるいは別途有償で譲渡する)

表2 物件の状況 本物件は通常の経年変化によるほか、下記の通りの状況。

項目		状況
建物	①雨漏り	<input type="checkbox"/> 今まで雨漏りを発見していない。 <input type="checkbox"/> 過去に雨漏りがあった。箇所： 修理工事：未・済 昭和・平成 年 月頃 <input type="checkbox"/> 現在雨漏り箇所がある。箇所：
	②白蟻被害	<input type="checkbox"/> 今まで白蟻の被害を発見していない。 <input type="checkbox"/> 白蟻予防工事：未・済 昭和・平成 年 月頃 <input type="checkbox"/> 過去に白蟻の被害があった。箇所： 駆除と修理工事：未・済 昭和・平成 年 月頃 <input type="checkbox"/> 現在白蟻の被害がある。箇所：
	③建物の瑕疵（傾き・腐食・不具合等）	<input type="checkbox"/> 発見していない・ <input type="checkbox"/> 発見している 箇所・状況：
	④石綿使用調査結果の記録	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 調査年月日： 年 月 日 調査の実施機関： 調査の範囲： 石綿の使用の有無及び石綿の使用箇所：
	⑤給排水施設の故障・漏水	<input type="checkbox"/> 発見していない・ <input type="checkbox"/> 発見している 箇所・状況：
	⑥新築時の建築確認通知書（確認済書）・設計図書	建築確認済書： <input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無 設計図書： <input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無 建設業者・宅建業者：
	⑦住宅性能評価	<input type="checkbox"/> 無・ <input type="checkbox"/> 有（□新築・□既存 平成 年 月）
	⑧耐震診断	<input type="checkbox"/> 無・ <input type="checkbox"/> 有（書類名： ）
	⑨増改築・修繕・リフォームの履歴	<input type="checkbox"/> 知らない・ <input type="checkbox"/> 知っている（ 年 月頃） 箇所・内容： 建設業者： 建築確認済書： <input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無 設計図書： <input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
	備考：	
土地	⑩境界確定の状況・越境	
	⑪土壤汚染の可能性	・敷地の住宅以外（店舗・工場等）の用途での使用履歴 <input type="checkbox"/> 知らない・ <input type="checkbox"/> 知っている（ 年 月頃、用途： ）
	⑫地盤の沈下・軟弱	
	⑬敷地内残存物（旧建物基礎・浄化槽・井戸等）	
備考：		
周辺環境	⑭騒音・振動・臭気等	<input type="checkbox"/> 知らない・ <input type="checkbox"/> 知っている 状況：
	⑮周辺環境に影響を及ぼすと思われる施設等	<input type="checkbox"/> 知らない・ <input type="checkbox"/> 知っている 状況：
	⑯近隣の建築計画	<input type="checkbox"/> 知らない・ <input type="checkbox"/> 知っている 概要：
	⑰電波障害	<input type="checkbox"/> 知らない・ <input type="checkbox"/> 知っている 程度：
	⑱近隣との申し合わせ事項	
	⑲浸水等の被害	<input type="checkbox"/> 知らない・ <input type="checkbox"/> 知っている 時期・程度：
	⑳事件・事故・火災等	<input type="checkbox"/> 知らない・ <input type="checkbox"/> 知っている 概要：
	備考：	
㉑その他売主から買主へ引継ぐべき事項		

平成 年 月 日

本物件の付帯設備及び状況が上記の通りであることを売主は、買主に告知しました。

〈売主〉 住所・氏名 ㊀

上記の通り、売主より告知を受けました。

〈買主〉 住所・氏名 ㊁

物件状況確認書（告知書）ご記入にあたって

不動産について「隠れた瑕疵」がある場合には、売主は無過失責任を負うことになっていますが、売主が「隠れた瑕疵」を知っていて告げない場合は、さらに深刻なトラブルをまねくことになります。国土交通省では宅地又は建物の過去の履歴や隠れた瑕疵など、売主や所有者しかわからない事項について、売主からの告知書を提出することにより、将来の紛争の防止に役立てることが望ましいと指導しています。

ご記入をお願いします。

項目		状況
建 物	①雨漏り	天井からのものだけでなく、外壁やサッシ取付部分等からの吹き込みやシミがある場合も記入してください。
	②白蟻被害	売買対象の建物、敷地内の物置、建物周辺部の植木等も含めて記入してください。
	③建物の瑕疵（傾き・腐食・不具合等）	建物全体の傾き、部分的な傾き、木部の腐食（特に浴室・洗面所・台所等の水回りに留意）、サビ（ベランダ等の鉄製部分等）、建築部材（ヘルムアルデヒド等）、その他不具合を記入してください。
	④石綿使用調査結果	石綿を使用しているかどうかの調査結果があるか否か。その内容としては、調査日、調査の実施者、調査の範囲、石綿の使用の有無及び使用箇所について記入してください。 その他石綿に関する情報があれば建物の「備考欄」にご記入ください。
	⑤給排水施設の故障・漏水	配管等の割れ・水漏れ、赤サビ水・濁り・詰まり等、給排水関係の不具合を記入してください。
	⑥新築時の建築確認済書・設計図書	新築時の建築確認済書、設計図書の有無。 新築に係った建設業者、不動産取得時に係った不動産流通業者を記入してください。
	⑦住宅性能評価	新築又は既存住宅の住宅性能評価を受けているか否か。
	⑧耐震診断	以下の耐震診断の結果があるか否か。 ・地方税法・租税特別措置法に定める「耐震基準適合証明証」 ・住宅品質確保法に定める「住宅性能評価書」(含む平成13年国土交通省告示第1346号別表2-1の1-1耐震等級に係る評価を受けたもの) ・指定確認検査機関、建築士、登録住宅性能評価機関、地方公共団体が作成した耐震診断結果 その他耐震診断の情報があれば建物の「備考欄」にご記入ください。
	⑨増改築・修繕・リフォームの履歴	壁や柱の撤去・移動等の増改築・間取り変更を行っている場合は、耐力構造に影響を及ぼす可能性があるので、特に留意してください。
土 地	⑩境界確定の状況・越境	境界に関する取決め書や隣地との共有塀の有無や管理方法等、境界について引継ぎ事項がある場合に記入してください。また、屋根や塀、フェンス、塀、樹木等の隣地への越境あるいは隣地からの越境、道路への越境がある場合にも記入してください。
	⑪土壤汚染の可能性	土壤汚染調査等の状況、土壤汚染等の瑕疵の存否又は可能性の有無、過去の所有者と利用状況、周辺の土地の過去及び現在の利用状況を記入してください。
	⑫地盤の沈下、軟弱	地盤が弱い（当該土地が以前に水田や池、沼等であった場合等が考えられます）場合や、建物建築に当たって通常よりも強固な基礎が必要である場合は記入してください。また売買物件の地盤が現実に沈下している場合は、その場所と状況についても記入してください。
	⑬敷地内残存物（旧建物基礎・浄化槽・井戸等）	旧建物基礎や浄化槽及び建築廃材（いわゆる「ガラ」等の残存物）、撤去費用を要する不用物がある場合に記入してください。
周 辺 環 境	⑭騒音・振動・臭気等	一般的な観点から判断して気になると思われるものについて記入してください（道路・電車・飛行機・工場・店舗等によるものが考えられます）。
	⑮周辺環境に影響を及ぼすと思われる施設等	一般的な観点から判断して気になると思われるものについて記入してください（ゴミ処理場、暴力団事務所、火葬場等が考えられます）。
	⑯近隣の建築計画	売買物件に影響を及ぼすと思われる近隣の建築計画があれば記入してください。
	⑰電波障害	テレビ等の電波に障害がある場合に記入してください。
	⑱近隣との申し合わせ事項	近隣地域（自治会・町内会等）での協定や取決め（ゴミ集積場所、自治会・町内会費等）で特に買主に引き継ぐべき事項を記入してください。
	⑲浸水等の被害	床上・床下等を問わず、浸水の事実について、また周辺地域が浸水の多い地域であればその事実も記入してください。
	⑳事件・事故・火災等	売買物件やその近隣での自殺、殺傷事件等の心理的影響があると思われる事実があれば記入してください。 また、火災についてはボヤ等についても記入してください。
㉑その他売主から買主へ引継ぐべき事項		表記列挙項目の補足説明や、列挙項目以外（近隣とのトラブル等）で、買主に説明すべき事実があれば記入してください。

3. (社)全日本不動産協会 東京都本部 書式

【付帯設備及び物件状況等報告書】

1. 付帯設備等

設備 名称	備 考	設備 名称	備 考	備 考	備 考
照明器具	付・無	吊り戸棚	付・無	物干し	付・無
暖房機	付・無	カーテン	付・無	ボイラ	付・無
冷房機	付・無	カーテンレール	付・無	TVアンテナ	付・無
ウインドファン	付・無	ジュータン	付・無	物置	付・無
風呂一式	付・無	敷込カーペット	付・無	門柱・フェンス	付・無
台所セット	付・無	網戸	付・無	車庫	付・無
換気扇	付・無	トイレ一式	付・無	庭木・庭石	付・無
湯沸器	付・無	ドアーチャイム	付・無	池 一式	付・無
下駄箱	付・無	インターホン	付・無		付・無
洗面器具	付・無	電話機	付・無		付・無

※ 売買物件には、上記設備等が現況で付帯されています。

※ これらの設備は、設置後経年変化があります。

※ 以上の付帯される設備等の中で、経年変化を除き不良なものについて、その状態を記入します。

※

2. 物件の状況

雨漏り	<p>1. 現在まで雨漏りを発見していない。 2. 過去に雨漏りがあった。(箇所 [修理] 未・済 昭和・平成 年 月 頃) 3. 現在雨漏りがある。(箇所 イ. 未処理のまま引越し ロ. 修理予定 月 日頃)</p>
白蟻の害	<p>1. 現在まで白蟻の被害を発見していない。 [白蟻予防工事] 昭和・平成 年 月頃 済・不明 2. 過去に白蟻の被害があった。(箇所 [白蟻駆除] 昭和・平成 年 月 日頃 [被害箇所の修理] 未・済 昭和・平成 年 月 頃 3. 現在白蟻の被害がある。(箇所 イ・現状引渡し ロ・駆除予定 月 日頃 ハ・修理予定 月 日頃)</p>
木部の腐食等	<p>1. (有・無) 箇所と状況 2. 現状引渡し</p>
給排水配管の故障等	<p>1. (有・無) 箇所と現況 2. 現状引渡し</p>

3. 配管等の状況

配 管	引 込 状 況	他人の敷地利用	他人の配管理設
給 水	敷地内配管 (有・無)	不明、 無・有	不明、 無・有
ガ ス	敷地内配管 (有・無)	不明、 無・有	不明、 無・有
排 水	敷地内配管 (有・無)	不明、 無・有	不明、 無・有
備 考			

4. その他買主に引き継ぐべき事項

1. 第三者の承諾について

給排水設備、水道管、ガス管、下水道管等の利用及び敷設に際しての地主又は、第三者の承諾
並びに負担金、分岐料金について (有 ・ 無)

2. 都市計画の説明について

計画道路、区画整理事業、河川改修計画、高压線の敷設計画等の説明会又は、これに伴う補償
金、負担金の授受等について (有 ・ 無)

3. 周辺の状況について

中高層の建物や工作物の建設、航空機等の騒音、電波障害、近隣河川の氾濫又は、地方公共団
体の私道買上、寄付等の予定について (有 ・ 無)

4. 諸費用等の負担について

町内会費（自治会費）、汚水処理費、B Sアンテナ使用料、積立金、管理費、及びこれらに関する規約等について (有 ・ 無)

5. その他

上記又は、その他のことで買主に知らせておいた方が良いと思われる事を報告します。

[報告事項]

平成 年 月 日

平成 年 月 日付け不動産売買契約に関し、売買物件の現状等が以上のとおりである
ことを売主は買主に告示し、買主は告知を受けた。

売 主 氏 名

印

買 主 氏 名

印